



米穀輸出之儀建言

3160





414  
A3158



米穀輸出之儀建言

伏  
レ  
テ  
聞  
ク

皇國ニ産出スル米穀ハ其性質最モ純良ニメ  
其品位モ上等ヲ占ム固ヨリ印度地方ニ産出  
スル米穀ノ企テ及フ所ニ非ス况乎其産出ノ盛  
大ナル宇内ニ卓越スルニ捨テマ夫レ

皇國ノ理財ハ米穀ヲ以テ本源トス故ニ人民ノ  
營生経業ニ至リ其活機ヲ運用變通スル一ツ  
モ此ニ資マサルナシ且近時農事大ニ進ニ上下ノ  
収獲年々逐テ益加リ客秋ノ如キハ古来未嘗

大正十一年四月  
大隈侯爵郵寄贈



有ノ豊熟ニモ、硤土瘠地モ、尔充分ノ租ヲ致サ、ル  
無シト慎、愚竊ニ以爲ク、實ニ國家ノ幸福人民  
ノ便益在、躍ニ堪サルナリ、或曰、斯ク豊饒年一  
年ニ加フ、美トスル所ニ非ス、平年尚ホ多穀ノ憂  
アリ、矧ヤ今年豊饒ノ後ニ承ルヲヤト、嗚呼之レ  
何ノ謂ヤ、宇内ニ卓越スルノ米穀ヲ、曷ニ乏ナラ  
シメント欲シテ、年ノ凶歉ヲ祈、請スルカ、曾テ聞ク、舊  
幕府鎖港ノ時ニ際シ、我加能越ノ豪商、竊  
ニ海上ニ於テ密鬻ヲ爲シ、竟ニ嚴刑ニ處セラ、ル  
是則チ彼レノ渴望スルニ出ルト、雖ニ此レノ利益

多クナル、察知スヘシ、此ニ於テ乎、米穀ノ理財ノ  
本源、人民ノ資生ト云フモ、亦証言ニ非ルナリ、然  
リト、虽ニ徒ニ其利益アル所以ノ物ヲ擁レテ之ヲ  
海外ニ發越妙運スル所以ノ道ヲ得サレバ、未ダ  
前項多穀ノ嘆ヲ免レス、豈ニ計ニヤ、客歲既ニ  
米麦輸出ノ禁ヲ免シ、尋テ貢米貳拾万  
石之ヲ外人ニ賣リ、特ニ其時價ヲ殺ク、殆ト  
十一、慎伏レテ顧フ  
閣下ノ至明至敏ニ非スレバ、何ヲ以テカ、夙ニ茲ニ  
至ラシ、國家理財ノ基礎、誠ニ此一大美、奉ニ



在り焉 慎 壯年ニメ 進取ノ意氣自ラ禁  
スル能ハス 所謂 靡ヲ得テ 蜀ヲ望ミ 此義  
舉ヲメ 益ク大ナラシメ 内チ 輸出ノ源ヲ 殖シ外  
カ 貨入ノ額ヲ 増サシメ 切ニ 仰願止マス 因テ  
上陳スル 左ノ如シ

抑米穀ヲ 輸出スル 裝載 漕運ノ 便ヲ 專要  
トス 漕運ノ 便ナル 香港ヨリ 宜キハナシ 仍テ  
先ツ 此港ニ 輸送シ 延テ 馬尼刺港ニ 到リ  
售賣スル 必ス 巨利ヲ 得ヘシ 何則 從來 兩  
港ニ 輸入スル 所ノ 印度米ナル者 極テ 粗惡

就中 甚シキニ 至レハ 蕃米ニ 用ヒス 無味 知ルヘシ 矣  
閣下 曩日 茲ニ 見マリ 官負ヲ 派出シテ 該  
地方ヲ 巡視セシメ 將來 大ニ 為ス所 アラシトス  
慎之ヲ 道路ニ 関キ 拊喜 措ク所ヲ 知ラス 故  
ニ 顧フ 去年ノ 米穀ヲ 兩港ニ 輸送シ 該港  
ノ 社會 豪高ニ 熟議シ 信義ヲ 以テ 納  
束ヲ 修メ 勉メテ 多額ノ 米穀ヲ 賣却セシ  
ムルニ 在リ 然リト 雖 至愚 無識 固ヨリ 宇  
内ノ 大形ト 天下ノ 理財 何物タルテ 明知ス  
ル能ハス 而メ 敢テ 擢リニ



閣下ノ高明ヲ冒瀆シ勢位ヲ干犯スル多  
罪閣下所ヲ知ラス唯一片ノ赤心献芹ノ  
微衷幸ニ

閣下河海ノ無量恩貸ヲ賜ヒ萬一高  
採ヲ得ハ慎ノ幸甚譬フルニ物ナシ其方法  
ノ如キハ別ニ稿ヲ屬シ開具スルアラントス誠恐  
誠惶頓首百拜

敦賀縣信達第一六區五小區  
錦下町八十三番地

明治九年三月

山田慎

大藏卿大隈公

閣下







